

2016年7月オーストリア

7月1日（金）

今回は初めてフィンエアーを利用、福岡から直接ヨーロッパへ向かう。定刻9：45より5分ほど遅れて福岡空港発、ヘルシンキ経由は初めての行き先なので離陸後どの経路にてシベリア上空へ向かうのか大変興味が有ったが何と東へ向かうではないか！国東半島から徐々に北へ向かい、広島、米子から隠岐の島々を眼下に望んで若干東に向きを変え日本海を北上し、北朝鮮や中国の領空をさげ、ソ連の領空のみを通過してシベリア上空を飛行した。

今までの経路より北側を飛行したようで、はるかに北極海も望むことが出来た。飛行時間ほぼ9時間にて13：43にヘルシンキ空港に着陸。トランスファーの荷物チェックを受け、欧州（EC）への入国審査を受けるがいずれもチェックは厳しかった。パスポートコントロールでも目的地から滞在期間やホテルの予約まで尋ねられたのは近年では初めてであった。

その後ラウンジにて休憩してコーヒーを飲みながらフリーWifiを利用してメールチェックを行う。

時間を潰して17：10 Helsinki をエアールベルリンにて出発、バルト三国からポーランド上空を経由してウイーンへ。上空から畑の模様を見ていると整然と区画され畑作の行われているのが旧東欧圏でオーストリアの耕作地とは模様が違って感じた。

ウイーン空港では荷物の出て来るのがとても遅くイライラさせられた。荷物受け取るとまっすぐにプリペイドSIMを手に入れる為にHalloHalloに行き14.9ユーロにて購入。直ちに駅に向かうが何と有人の窓口が無い！つまり人が居ないのでユーレイルパスのバリデイト（有効化）が出来ない！（入国者出口の右側にあるのを出国時に確認）

やむを得ずカードにて切符を購入しザルツブルグ行きIC（特急）、19：33発に乗車。終点まで改札無し！！車内で早速プリペイドSIMを使おうとするがインターネット接続の設定が旨く行かないで結局ホテルまで持ち越した。途中サントペルテンの手前と駅でしばらく止まっていた。アナウンスが有って乗客がチョットざわめくも意味不明でそのまま乗車する。約30分遅れで走行していたが途中でウイーン空港30分後発のRailJet（RJ）に抜かれてしまってガッカリ！まさか追い抜かれるとは思わなかったが遅れの原因は何だったのだろうか？

ザルツブルグに約20分遅れで到着、駅近くのホテルを予約していて助かった！直ぐにチェックインし、5：30のチェックアウトを告げて部屋へ。直ちにシャワーを浴び、洗濯をする。部屋でプリペイドSIMの設定をいじっているとやっと使えるようになった。

7月2日（土）

4時半には目が覚め、洗濯物はちゃんと乾いていた。PCのネット接続が旨く行かないで困ったが原因がホテルのWiFiかPCの設定かが解らず結局メールチェックが出来なかった。

5時半にチェックアウトへ降りて行くと朝食の準備中であつたがコーヒーとヨーグルトにフルーツ（プラム）を載せて駅へ。駅でやっとバリデートを済ませ、本来、本日は距離が短いので使わない予定であつたが昨日の分を使用する。朝食に駅にてサンドイッチ、飲み物と非常用のパンを購入しICに乗車、発車後直ぐにチケットの検札にやつて来た。

Randstadt 駅に付くとバスは既に止まっていて走って乗り込む乗客に付いて行く。チケットは運転手より購入(8.7 ユーロ)、ポストバスの飛ばすこと！目的地 Mauterndorf はスキー用と思われる複数のリフトや多数のホテルの有ると峠を越えた山奥の盆地であつた。



まずはホテルへ荷物を預けに行くと、部屋は有るので使って良いとのことで部屋に荷物を置き、撮影用に荷物を整理して早速出かける。10時の発車だが9時過ぎに駅に着くと既に SL は車庫から出て出発準備は出来ていて、数人の乗客も来ていた。車庫前の SL を撮影していると車庫前には薪が山のように積んであり、SL の運転台の足下にも薪が積み込んであつた。その後駅舎にて往復のチケット(12 ユーロ)を購入するが駅舎内には本や記念品が各種置いてあつた。



SLは逆行で連結されており、帰路の上り勾配を順行で走るように繋いであるようだった。ゆっくり乗客や列車を撮影し、出発を待つがその間に空腹で持参のパンを食べてしまう。

乗客が少なく右に左に車窓から撮影しながら、撮影の適地を探すが、下り勾配ばかりで煙は少なく、帰路で確認しないとまらない。面白いのは保存鉄道のため週末しか運行されないためにか大きな踏切では列車側が車の切れるのを待って遮断機を手動で降ろしてから通過していた。

終点 St.Andra は機関車を入れ替えるための側線も無い駅でこんな所で降ろすの？と



いった場所であった！乗客を降ろすと列車は500mほど先まで行き機関車を付け替えてから戻って来るのだった。小さな街をぐるっと回って20分ほどで駅に戻って来ると丁度列車がドラフトを上げてやって来たので畑の中から順行のSLを撮影する。

1時間少々にて発車、再び撮影候補地を探しながら右に左に撮影しながら車窓を楽しむ。数カ所の候補地を見つけるがそこに行く方法と帰る方法が問題である！レンタカーが理想的だ。

Mauterndorf 駅に到着後に車庫の前に回送された機関車を撮影していると鉄道ファンが車庫の中に別のSLが置いてあるからと言って職員から了解を取って車庫の中へ案内してくれた。ほぼ同年代かな？機関車は奥に有りすぎて暗くて写真撮影が出来ない。最後に燃料を積み込みが始まり見ていると何と石炭を積み込んでいるではないか！薪のSLが売り込みと思ったが！

一端ホテルに戻り荷物を置いて近くに昼食へ行く。時間がかかりヒヤヒヤするが料理はおいしかった。直ぐにホテルに戻ってカメラ一式を抱えて出かける。まずは駅から10分ほどのお城が背景になる所を目指すが目差しが強く傘をさして歩く。



刈り入れが済んだ畑作地に入り三脚を構えてカメラを準備していたら一眼レフカメラの電池が無い！今朝使い始めたばかりなので安心していただけに充電が不十分だったのだろう、予備の電池が無いので予備のカメラを取り出して列車を待つ。発車の汽笛が鳴って間もなく列車が見えだしビデオのスイッチをいれる。

スイッチをいれる。

何とか良い写真が撮れたかなー？で終了。次に目を付けた撮影ポイント Mariapfarr 駅へ向かう。約1時間のつもりで携帯の地図を頼りに歩くがなかなか難しい。川沿いで日陰になりそうな道を選ぶが、サイクリングやハイキング、乗馬のルートと思われる番号が書いてある目印を参考に進むが耕作地の区画に邪魔をされ意外と回り道で予定の駅まで途中の休憩を含め1時間半ほど掛かってやっと到着、10分ほど余裕があった。

直ぐに準備をし、三脚にビデオカメラをつけて待つが前方に先ほどSLの機関庫内を教えてくれた男性がカメラを構えていた。やってきた列車を撮影後直ぐに三脚とカメラと荷物を持って前方に移動。発車のドラフトを撮るのだ！

旨いことに駅のすぐ横に大きな道路との踏切があり、例によって列車が車を待つので

少々余裕を持って撮影の準備をする。通過する機関士に挨拶をして無事に撮影終了！ショット日の射し具合が気になるが何とかあったのでは？

さて、どうやってホテルへ戻るか？いざとなれば歩いて戻るつもりで来ているが足が疲れている。で、頼りになるのが GoogleMap で有る。現在地点から街までのルート検索で公共交通機関を選ぶと徒歩 10 分ほど先に約 20 分後にバスが有るではないか！！やったー！これだからどうしても現地でネットサービスが使えないとならないのだ。最もバス会社が Google に時刻表を提供していないと利用できないサービスである。

バス停で待つこと約 10 分、やって来たバスで約 10 分、バス賃 2.4 ユーロで歩かずに済んで助かったし、おまけに途中で雨が降りだした。小雨の中ホテルまで戻って直ぐに一眠りする、疲れたー！歩かなくて済んで良かったー！！

お昼寝後日記を書き、シャワーを浴び、洗濯をして、日記を書いて夕食へ。街中をちょっと一回りしてレストランへ、失敗！まずかった。部屋へ戻ると 2 時半過ぎで、そのまま寝てしまう。

7 月 3 日（日）

5 時前に起床、雨上がりのように道路は濡れて曇り空である！雨だとどうしよう！撮影が出来ないので列車に乗るかホテルで寝て過ごすか？取りあえず昨日分の日記を書き上げる。

7 時まで我慢して朝食へ降りて行くと 7 時半からとのこと！しかし、準備が出来ているからと食べさせて貰えた。ゆっくりと食事を済ませても時間が余る、ホテルのベーカリーは休日の為かまだ閉まっていたので昼食の食料が心配で 8 時になって街の散歩に出かけるがそもそも商店が無いし、スーパーは開いて無い。バス停前のベーカリー&コーヒーショップの電気が付いて人が入って行くので付いて入るとパンと飲み物を手に入れることが出来た。

部屋に戻り、意味の分からないテレビを眺めながら、今日の予定を考えて時間を過ごし、9 時過ぎにホテルを出る。駅で SL を撮影するが鉄ちゃんとおぼしき人が数名いる。



まずは片道チケット 6 ユーロで終点の St.Andra へ向かう。

機関車の付け替えの為に追い返し場所から戻ってくる列車を撮影後に早速、見当をつけていた丘へ急いで向かう。意外と近くゆっくりと撮影の準備が出来た。待つことしばし、ビデオと一眼レフを三脚に据え、もう一台は手持ちの三台体制で小高い位置からの撮影が出来たが良い写

真が撮れたことを期待する！！気がついたのか列車から車掌が手を振ってくれたが列車の撮影でうろうろして回るので覚えてくれたのだろう。

で、バス停を目指して歩く。昨日歩いて戻った **Mariapfarr** 駅を目指す。途中で昼食のパンを食べ歩くが、時間に余裕があったので **Mariapfarr** 駅では無く丘の上に有る **Mariapfarr** の街を目指すことにする。するとこの街はユネスコに登録された街で有ることが解り、教会などを撮影し、バス停で残りのパンを食べて待つ。一応 **Mauterndorf** と **St.Andra** 間を歩き通したことになる。

定刻より少々遅れて来たバスの飛ばすこと飛ばすこと！西鉄バスでは考えられないスピードだった。2.4ユーロで昨日と同じ料金で **Mauterndorf** へ戻り、撮影場所を探しうろうろしてしまいギリギリで駅のすぐ近くで列車の出発を撮影する。

戻って来る列車を撮影する予定なので一端ホテルへ戻る。この時点で 15000 歩も歩いており、足がだるいので足を上げて一休み、うとうとする。15時を過ぎたのでオープンしていたホテルのコーヒーショップでコーヒーとチョコレートケーキを食べるが甘いこと甘いことおまけにチョコレートのカステラがフワツとしてなくて美味しくない。逆に日本のチョコレートケーキのフワツと具合がおかしいのかも？



Mauterndorf 駅近くの目的の場所に行き、畑の端っこにて三脚にビデオと一眼レフそれに手持ちで1台構えて3台体制で撮影する。やって来た列車をファインダー越しに見ていると何と **SL** の重連ではないか！！1台の機関車で出発したのに！思いがけないことで慌ててシャッターを押す

手が止まってしまった。良い写真が撮れたか心配である。

急いで駅に戻り2台の機関車が構内を行ったり来たりするのを撮影する。昨日車庫の奥に留置してあった **SL** が動いていたのだった。次回の運行は次の土曜日なので2台の機関車の手入れが終わり、車庫のドアが閉まるまで撮影を続けたが乗客は当然ながら鉄ちゃんと思われる人たちも居なくなっていた。**SL** は今日まで走っていたのが奥に留置となったので次回の運行は本日動いた **SL** で列車の牽引がされるのだろう。



ここでの予定が終わってしまったのでお城の下まで市内の撮影をしながら歩いてからホテルへ戻る。万歩計は 22000 歩を越えていた。一休みをしてシャワーを浴び、洗濯もする。時間が早いので明日朝には乾いているだろう。その後今日の日記

を書いて過ごす。20時になったら食事に行き戻って来たらそのまま寝る予定。どこに食べに行こうかなー。

結局昨夜と同じレストランを選択せざるを得なかった！日曜日に開いているレストランが少ないのだった。で、やはりまずかった！今日の料理はとってもとっても塩辛かった！！請求の値段は29ユーロ決して高くは無かったが明細を見るとアルコールの消費税が20%でその他が10%の消費税になっていた。

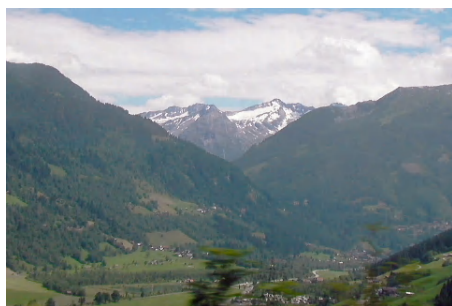
7月4日（月）

夜中に一度目が覚めしばらく眠れなかった。次に目が覚めたら5時過ぎだった。5時に目覚ましを掛けたつもりだったので確認すると6時になっていた、6時はチェックアウトの時間なので目が覚めて良かった！

荷物を整理し、洗面し身だしなみを整えて6時過ぎたので降りて行くが誰も居ない。前日の6時のチェックアウトは伝えていたのだが。隣のパン屋さんを覗くと営業中でチェックアウトOKとのことでそのままホテルを後にする。

Mauterndorf バス停前のカフェ&ベーカリーでパンと飲み物を購入、早速朝食に戴いてから**6:22** 発のバスに乗るが **Randstadt** まで **8.7** ユーロなり。来た道に戻るのだが急坂で上り、峠にある立派なリゾートの街には感心するが冬には相当に賑わうのだろう。その後は急な下りでしかも曲がりくねっており、事故車が所々に置いてあった。丁度通学のバスを兼ねている様で小学生から高校生？が順次乗って来る。

Randstadt にて1時間強の待ち合わせ後に20分乗車した **Bischofshofen** でまた1時間強の待ち合わせをする。次が **Kitzbühl** で **11:40** に到着、ここでポストバスへ乗換。ここでまた1時間5分の待ち合わせで駅構内のカフェで昼食を食べる。ビールとソーセージ2本にコーヒーとケーキで **16.8** ユーロなり。ソーセージが大きく少々食べ過ぎた。



る。

12:45 発の **Lienz** 行きバスは結構お客さんが乗って来て、乗車時に乗車券を発売 (**15.8** ユーロ) する為に5分も発車が遅くなった。谷間を詰めて徐々に高度を上げて峠を越えたら眼下に **Mittersill** の有る谷が広がって見え、さらに遠くにこれから向かう雪が有る岩山群が見え、とてもきれいな景色である。

こちら側は急な崖になっていて、いきなりくねくねと急坂を下って行く、**Mittersill** の駅前を經由して雪山の見える谷を目指す。この谷もくねくねとどんどん高度を上げて行き、小さな雪渓と同じ高度まで上がるとトンネルの入り口があった。

長い2車線のトンネルを出たら直ぐに料金所があった！珍しいことに有料道路だったのだ。料金所の先は崖になっておりいきなりカーブの連続で100mほど下る。その後は急な下り坂の連続でどんどん下って行く。こちらの谷では部落ごとに乗客の乗り降りが結構続いた。

Lienz 駅前に予定通り到着、街中へ足のばしを兼ねて歩き、小さなアイスクリーム(1ユーロ)を食べて駅へ戻る。ホームには既に RJ が入線しており早速乗車して待つ、定刻にがらがらで発車し、Unzmarkt まで3時間弱。Villach から先は既に乗ったことの有る路線でのんびり過ごす。

東に来ると山並みは緩やかとなり岩峰は減り丘陵地が多くなって来るが Unzmarkt へは峠越えがあり、はるか左下に Murau へ向かう STL B の線路が見えてからしばらく走ってやっと駅に到着する。

待ち時間30分ほどで少ない乗客を乗せて発車。発車直前に運転手からチケットを購入(6.4 ユーロ)、前は下車時に払おうとしたら会計を閉めたからただで良いと言われたことがあった。狭軌の線路を飛ばして良く揺れながら走るが一部工事区間(洪水の被害)が有り5分ほど遅れて到着。

駅前から徒歩数分でホテルに到着。今回のホテルもカフェが経営するホテルだった。直ぐにシャワーを浴び洗濯もして近くのレストランへ夕食に行くがピザレストランで立派な石窯があったがピザでなくウインナーシュニツェルを初めて食べたがまあこんなものでしょう。サラダとビールとで18.5 ユーロ。戻って直ぐに寝るが本日の徒歩は7300歩なり。

7月5日(火)

夜中に2回ほど目が覚め、結局5時前に起床、昨日の日記を付ける。8時の Tamsweg 行き列車に乗車する為に8時から朝食ですと言われたのをお願いして7時半に朝食を頼んだので間に合わせるように準備をすませ朝食へ行く。

準備ができていた朝食を急いで食べて駅へ、往復乗車券を購入すると24時間有効のチケットで17ユーロであった。学校はまだ有っているようで小学生から高校生？がうろうろしている。

まずは撮影ポイント探しなので景色が良くて駅からの距離、日当たりなどを考えながら見て過ごすがとても難しい！車が有ればなー！！である。数カ所の候補地を挙げるがその場所に立たないと決められない。

結局 Tamsweg に付いたらその列車が折り返しなのでそのまま戻ることにする。Tamsweg からは昨日まで居た Mauterndorf までのバスが出ているのだ、しかも1時間

ほどこで行けるのだ！帰りの列車でも一緒に、帰路はどこで降りて撮影するか？の場所を求めて景色を眺める。

いろいろ考えながら Murau 駅に 9:58 に着くと SL が 2 両の客車を繋いで入れ替えしている。早くから準備をしているなーと思いながら撮影をしていると乗客が乗り込み、いかにも出発準備が出来ました！との雰囲気なので機関士に何時出発か？と尋ねると 10:15 発車、というではないか！！土日の運行日は 10:15 発なのである。

えっ、火曜日は 12:50 の発車では？と尋ねる語学力も時間もなく後部車両に乗り込む！直ぐに発車、2 両なので軽快に走る。乗客が少ないから 2 両なのかな？時間が変更になったのを多くの客が知らないから少ないのか？それにしても車掌が回ってこないなー？時間が違っていたので予定が狂い、撮影場所をどこにしようかなどなどと考えながら車窓の写真を撮りながら乗っていた。

やがて、停車時間が長めで、途中下車をして写真をとっても良いなー、と思う駅 Stadl an der Mur に到着。下車して写真を撮ろうと思い荷物を持って下車、前方へ行きドラフトを上げて発車する機関車の写真を撮ろうとした。



ところが機関車が切り離されて行ってしまった！この駅で機関車の付け替えが有るのか？いずれにせよ後方に機関車が繋がれると思われるので写真を撮る為に後方へ移動する。すると、後方でカメラを構えていた人が邪魔！邪魔！と合図するではないか、走って後方へ行き撮影するのをじゃ

まにならないようにする。

すると、そこに昨日 Mauterndorf 駅で車庫の奥に有る SL を教えてくれた男性が撮影して居るではないか！！お互い笑って挨拶！

機関車の付け替えが終わり一息ついて、前述のカメラマンの男性にこの列車はテスト走行なのか？と尋ねると「プライベートラン」との答え！！つまり、この列車はチャーターされた専用列車だったのだ！！

知らないこととは言え、とんでもない列車に乗ってしまったのだった！「降りれ！」と言われてもやむを得ないのだが鉄道ファンと解った為か「everything OK」と言われた。帰りは撮影をすることも無く小さくなって座っていた。11:45 に Murau に到着、降りる際にもう一度謝って降りた。しかし、プライベートランを家族とする人がいるのだ！すごいなー！と思った。

Murau 駅を 12 時発の列車にて再度 Tamsweg へ向かう。どこで降りて次にやって来る SL(12:50 発)を待ち受けるかがなかなか決まらず、結局 Ramingstein で下車。まず

は川の対岸側での撮影ポイントを探すが川沿いに大きな木が続き少々高い場所からでも撮影不能。急いで駅まで戻り、線路沿いに駅から徒歩5分程に候補地を見つける。



時間が少々有るので駅近くのピザレストランまで戻る。とは言え、ゆっくりする時間はないので急いでピアマルガリータ（コーヒー代込みで10.3 ユーロ）を注文。熱いチーズを用心しながら急いで食べ、カプチーノを飲んで撮影地へ戻る途中に再び Mauterndorf の男性がいた。彼は駅近く

の橋の上から撮影するようだ。

私の撮影ポイントへ行き、後方の彼の邪魔にならないようにカメラをセットして列車を待つ。カメラ3台体制にて撮影するが旨く行ったのでは？と思いながら駅へ戻る。約1時間の後続列車待ちである。



後続列車にて Tamsweg に到着、留置してある SL を撮影後ベンチに横になって、疲れた足を上げて休憩するがここでも約1時間の待ち合わせだ。発車30分ほど前になると乗客が集まって来る。出札口は開いてないので切符無しで乗ることになる。SLの先頭への連結を撮影して乗車する。

発車後直ぐに検札にやって来たので切符を購入しようとしたら、お前は顔を覚えているから切符の確認は良いよ！と言った雰囲気を通り過ぎて行った。Murau でも Tamsweg でも列車の周りをうろうろしていたからてっきり乗客と思ったのだろう！お言葉？に甘えて SL 列車に無賃乗車をさせていただく。ただし、通常の列車用の切符は持っているのだけど。

すると雨が降り出した。窓が開けられない本降り、途中で下車しての撮影は諦めてまっすぐ Murau へ戻ることにする。結構雨粒が大きく濡れたら大変そうだったが幸いに Murau へ着く頃には雨は上がり青空も見えだした。

ホテルへ戻り、入浴と洗濯を済ませる。夕食はホテルにて食べることにして降りて行き豚肉をメニューから選んで食べるがまずくはないが少々しょっぱかったが良い方だと思う。ビールの小を2杯飲んで真っ赤！部屋へ戻る。残り日記を付けて就寝する。本日の歩数は12000歩だった。

7月5日（水）

目が覚めたら4時過ぎ、夜中に目がさめなかったのは初めて。時差ぼけが無くなった

のかな？帰る日が近づいてきたから。日記をチェックし、書き加えて時間を過ごす。その後荷物を詰めて準備が終わるとまだ6時半前、時間が有るので駅の裏山にある教会まで散歩をすることに。かつて知った道でキリスト教の殉教者にちなんだと思われる像が飾ってある多数のお堂？の前を通りスムーズに教会にたどり着く。丘の上を一回りして駅に近い道へ下る。40分ほどでホテルへ戻った。

7時半丁度に朝食へ降りて行き、食事をゆっくり食べ、支払いを済ませ駅へ向かう。今日は移動日で例によって回り道をして一日を **Graz** 経由で **Weiz** へ向かう予定。直行すれば2時間弱かな？

Unzmarkt(6.4 ユーロ)行きは5分ほど遅れて出発、途中の工事区間での徐行が有ったにも関わらず3分遅れで到着した。待つこと30分ほどで **Klagenfurt** へ向かう列車に乗るがなんとイタリアのベネチア行きの **IC** だった！

1等車を覗くと6人のコンパートメントばかりでほぼ満席の様子でしかも大きなトランクが通路に鍵を掛けて置いてある。そのまま食堂車に行きブラックコーヒー（初めて有った）とチーズケーキ(7.3 ユーロ)にて **Klagenfurt** まで過ごした。幸いに空いたので。

Klagenfurt 市内は見る場所が無いので直ぐに **Graz** へ向かうことにするが次のインターシティバスは11:20 発なので駅周辺で時間を過ごす。昼食は **Graz** で食べる予定で水のみを購入して乗車、レイルパスが使える。2階席の最前列に座れたので **Graz** まで十分に景色を堪能できたがトンネル内で大型トラックを追い抜くのはギリギリの感じでヒヤヒヤした。丘陵地たちを越えながら行くので景色はすばらしかった。途中でインターを降りて国鉄の駅前に停車した。高速道路の走り方は日本と同じように思えたが料金所が無いのが良かった。

一カ所、通行制限が有って全車が右の側道に渋滞して並んだ場所があった！何事かと思ったら警察の検問があっていて1車線を徐行して通って行く検問専用の場所が設置してあった。

ほぼ予定通りに **Graz** 駅に到着、まずは荷物をコインロッカーに預けようとロッカーを探すが案内標識が不親切でなかなか見つからなかった。地下にロッカーを見つけ大きい方のバッグを預けるが3ユーロであった。仕組みは簡単で開いたロッカーに荷物を入れ、扉を閉めて3ユーロを入れるとやや硬い紙のカードが出て来る。リターン時は矢印の方向にかざすと赤外線センサーでロッカーが開くようになっていた。

カメラバッグ一つとなり次はガイドブック（地球の歩き方）の言う地下鉄に行く。路面電車が駅の下をくぐる区間が地下になっていた。5ユーロの24時間チケットをカードにて購入。早速乗車するが使用開始の刻印が必要なのを知らずそのまま乗っていた。



検札に見つかったら罰金である。

中央広場で下車、地図を貰い忘れたので目的の時計台へ見当を付けて歩くと直ぐに登り口（階段とエスカレーターが有る）に到着。もちろん階段を歩くが結構きつい！ゆっくり歩いて時計台の直下の庭園に到着、花が満開で綺麗で時計台と市内の撮影をする。

時計台から最高地点を目指し、一回りすると観光はおしまいである。下るのは別の道へ下りだすと直ぐにケーブルカーの線路横に出た。写真を撮る為に休憩し、その間に3日前に購入していた持参のパンを半分ほど食べて昼食とする。

ケーブルカーの写真を撮り終え、下りきって近くの電停へ。ここで乗った電車で刻印を押した。中央広場で乗り換えて Graz 駅へ戻る。駅で時間が有るのでコーヒーとケーキを食べる。その後に Weiz へ向かう為に駅の表示板を見ると私の調べて来た列車が無い(冬の時間で調べていた為と思われる)！早速頼りの Google Map で時刻を調べると市内バスセンター経由のバス路線を教えるではないか！（列車での Weiz 行きの表示も有ったが遅い時間だった）

時間に余裕が有るのでバス路線で向かってみようとするがまずは 16:08 発の Fehring 行きの列車で1駅行き下車、駅前からバスセンター行きのバスに乗ることになっている。駅前にバスが止まっていたので尋ねるがらちがあかない。スマホの Google の表示(バス停名が書いてある)を見せても！である。するとガード下に別路線のバスが来たのでそちらの運転手に Google の表示を見せると考えながら乗れ、とのこと。市の中心部に来たので再度尋ねると横に乗っていた乗客（綺麗なお嬢さん？）が「このバスは行かない、次のバス停で降りて歩きなさい（多分）」と言ってくれた。幸いに彼女も下車するバス停で行き先を指示してくれた。結局バスは無賃だった。

横を走り抜け手行くバスがずっと先の方で右折するのが見えたので付いて行くとバスセンターへたどり着けた。時刻表を見ると 16:30 発が有るではないか！予定通りに間にあって良かった！

そのバスにて Weiz(8.5 ユーロ)へ向かう。丘陵地帯を数回登ったり下ったりしながら Weiz bahnhof に到着、運転手さんからここが Weiz と言われた。えっ（本来中心街まで行く）？と言うと「市内工事中でここが終点（多分）」とのこと。

前回訪問時と同じホテルを予約しているのでさっさと歩く。少々怪しかったが無事に到着。チェックイン時に明日のバス停の件を尋ねるとやはり駅前からバスは出るとのこと。

早速カメラの電池を交換し充電を開始、同時に携帯電話も。洗濯をしてシャワーを浴びて日記を書いて時間を潰す。パソコンで列車の時刻を調べると何と1駅だけ乗った16:08 発の列車で行き Gleisdorf で乗り換えるとバスよりも先に Weiz に到着するのだった！！Google の案内が頼りにならないことも有るのだ（間違いではなかったが）！



一休みしていると何処からか音楽が聞こえ、演奏会が有っている感じだった。20時になり夕食に行こうと取りあえずホテルを出ると目の前に、ホテルに向かって吹奏楽団が演奏しているではないか！何事かは解らないが折角だから演奏を聴きながらホテルのレストランで夕食をとったらリザーブで満席だが宿泊客はレストランの奥にスペースが有るとのことで利用させてもらい夕食となる。

メニューを見ると面白いことに鳥賊のリング揚げばかりがメインとなっていた。山の中のオーストリアになんで？と思いながら頼んだがこれが美味しかった！小ビールを二杯飲んで(32.8 ユーロ)食事が終わる頃に演奏も終わり演奏者たちがビールを飲みに入ってきた。

チョット散歩に出るとカフェの有るパン屋さんが開いていたので明日の昼食用にパンと水を購入 4.8 ユーロだった。部屋へ戻り就寝。

7月7日（木）

4時過ぎに目が覚めた。例によって日記を書いて過ごす。もう一度寝ると良いのだが日頃5時間程度しか寝ない習慣なので寝付けない。7:07 発のバスに乗るので6時半の朝食になると直ぐにレストランへ行く。ゆっくり食べて45分にはホテルを出た。駅前からバスは出るので駅へ歩くと約10分かかった。

定刻にやって来た Birkfeld 行きに乗車（6.4 ユーロ）。丘陵地をどんどん登って行くが車窓から線路の走行に目が離せない。ホームページで見た石橋の上を走る SL が目から離れないのでぜひその場所を見つけないかと思いつきながら Google の地図も参考に観察していた。おそらく、と思われるそれらしき場所のバス停も確認した。本当に GoogleMap はありがたい。

この路線は終点？（Birkfeld）までほぼ上り勾配が連続のようであったが後半は森林の中を走ることが多く、Weiz 寄りの方が撮影の適地が多いのではと思われた。いずれにしても片道は乗って確かめ、戻りはバスで目的の撮影場所まで戻っても良いな！とバスの時刻表を確認しながら計画を立てて終点 Birkfeld Busbahnhof に到着。

到着直前の街中に入る前に右の坂の下に駅が見えたのでそちらへ歩いて行く。戻りが大変だー、と思いながら。駅に到着、客車が並んでいて、女性が建物に用紙を貼っていた。近づくと「今日は機械の故障で運行できない！」とのこと「えっ！！日本から来たんだよー！！」と言うと気の毒に思ったのかSLを見るか？と言われたのでお願いした。

ところが機関庫の鍵が開かずに見ることが出来ず窓越しに2両の機関車を確認、外にもまだ動きそうな1台もあった。写真撮れずにがっかりしていたら、メールアドレスを教えてくれたら綺麗な写真を送ります、と言われたの喜んでメモを渡した。

これにて今日の予定そして今回の撮影旅行もおしまい！となった。まだ8時過ぎ！どうするか？？ともかくホテルへ一端戻ることにする。急坂をさけるジグザグの道を見つけゆっくり上る。Busbahnhofへ行くとバスは9:03発なのでしばし休憩。

9時過ぎてもダーレも来ないなーと思ったら運転手がやって来て、こっちのバスだよと乗り込んだら発車(6.4ユーロ)。来た経路と若干違ったがWeizに到着するまでに、明日行く予定だったGraz郊外のLieboch鉄道博物館へ行くことにする。ホテルへ戻り荷物を減らして出かける。



急いで10:52発に乗車。Gleisdorf, Graz経由でLiebochへ(10.5ユーロ)。駅をそのまま西へ歩くと数分で到着。OFENと書いてあるが鍵がかかっている、するとおばちゃんが鍵を持ってやってきた。4

ユーロにて入場するもガッカリ。機関車が1両と後は少々の写真や鉄道関連部品、それに子供向けのおもちゃが置いてあるだけ。

ただ、ここら少々はなれているが交通の便が無く、行くことの出来にくい交通公園Stainzer Flascherzugに付いて尋ねると一生懸命教えてくれた。SLの列車が国鉄の駅(Preding-Wieslsdorf)まで往復するのでその駅では15:30頃にSLの写真が撮れる、とのこと。ただし、水、土と日曜日のみ(多分以上のことを一生懸命はなしてくれた)。

駅に戻ると丁度Graz行きが出たばかりなので少々遠回りになるWettmannstatten経由でWeizへ戻ることにする(14.4ユーロ)。Graz経由でホテルへ戻るとまだ16時前。洗濯とシャワーを済ませ、日記を書く。市内で見物に行きたい場所も無いのがことが無い！明日の計画でもたてよう。

明日訪問予定の博物館見学が無くなったし、明日中にウイーンへ着けば良いのだから折角の鉄道パスを有効に使い遠回りを考える。PCでWeizのレストランを探したり、ニュースやユーチューブを見たりして時間を過ごし、19:45を過ぎたので夕食へ出かける。ホテル近くのレストランPLOTZ HIRSCH jm altern Rathausへ行く。頼りない英

語でビールと豚肉のステーキとサラダを注文する (23.4 ユーロ)。出て来たサラダの量の多いこと！どこでもそうだが量が多い。料理はまあまあ美味しかった。若干しょっぱいのは外食である限りしょうがない。

ホテルに戻り PC でニュースの残りを見て寝る。そんなに歩いたつもりは無かったが 14000 歩だった。

7月8日 (金)

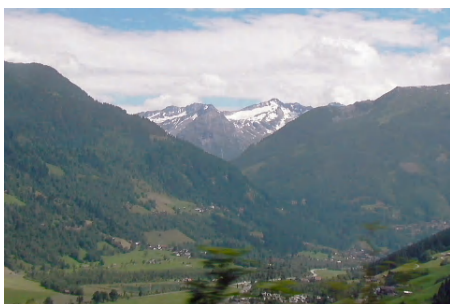
5時半に起床。今日はウイーンへの移動日で真っすぐ行くならノンビリ出来るのだが以前乗った Villach から Bischofshofen 間の景色を再度見たいのでそちらに回り、その後乗っていない Bischofshofen から Zelztahl 間を経由してウイーンへ向かうかな？と考え、取りあえず Weiz7:37 発に乗ろう。

6:30 直ぐに朝食へ、7時にチェックアウトへ降りて行きホテルを後にする。予定通りまずは Gleisdorf(4.3 ユーロ)へ、その後はユーレイルパス使用で Graz へ、Graz 発 9:05 の快速にて Bruck/Mur へ、10:15 発の RJ が 15分遅れでやって来た。発車がさらに遅れ 20分ほどの遅れとなる。しかも列車は乗客がとても多く相席でやっと座れた。大きな荷物を持った家族連れが目につき、昨日の列車の混み具合を見ても、どうもバケーションシーズンの始まりでは無いかと思われる。

Unzmarkt から先は今回既に 2回乗車済み。Klagenfurt に 12:39 に到着。目の前に乗り換えの Wien 行きの IC が止まっていた。本来は別のプラットホームなのだが配慮したのか、偶然なのかは解らないが助かった。

乗るとシートが予約でいっぱい！進行方向左側の窓側に空いている席をやっと見つけた。しかし、Villach からの夫婦が乗って来て何かいろいろチケット見ながら言っていたが結局二人並んで向かい側に座って落ち着いた。

車内販売がやって来たのでコーヒーを頼むと、なんとコーヒーサーバーを積んだカートで、注文を受けると座席横のコンセントに電源コードを差し込んでから一杯用パックでコーヒーを入れるのだった。さすがに本物の熱々のコーヒーであった(2.2 ユーロ)。



この路線を選んだのは左下に谷間を見ながら高度を上げて行く区間があり、眺望が良かったのもう一度見たいと思っていたからであった。ゆっくり堪能して長いトンネルを抜けると今度は右下に谷間が開けている。景色の良い区間だがなかなか通らない路線である。

その後 2 日目に通った Bischofshofen で Graz 行き IC に乗り換え、Randstadt 駅まで

は今回2度目の乗車であったがその先が未乗車区間であった。典型的なオーストリアと思われる谷間の農作地帯が続き、両側の山には多くのスキーリフトがあった。Stainach 駅から先は以前に Hallstadt 駅を通った時に乗車済みであった。Selzthal で機関車の付け替えが有り進行方向が逆になり最後尾となり Leoben を目指す。Leoben 駅の手前で長いトンネルに寄る新線が作られていた。

定刻の 17:29 着で、次の RJ17:33 発は 1 等車が前方なのでサッサと歩き、この辺かなと思うと列車が入って来た。乗車するにガラガラ！良かった、このルートを選んで正解であった。

以後は何回も乗った路線なのでセンメリング峠までは日記を書く。対抗する RJ は乗客が多く、やはり家族連れが多いように思われた。センメリング峠を下るのに 30 分もかかる。さすがの RJ もスピードはゆっくりと下り、下りきるとウイーンまでは約 30 分。Wien Meidling で S2 に乗り換え、Wien mitte で下車。ホテルは徒歩数分であった。

チェックイン後直ぐに夕食へ出かける。フロントでオーストリア料理を食べたいと言うと地図上でこの辺りに有る、と教えてくれた。しょうがないので見当をつけて歩くと、ウインドウに牛肉を煮た料理の写真を展示した店(PLACHUTTA)があった。若干高級風で、最後の夕食と思いはいる。幸いに席が有り、ビールとサラダとお店の名物の煮た牛肉料理(ターフェルシュピッツ；この店はこの料理で有名だった)を頼む。

サラダは美味しかったが最初に牛肉料理のスープを飲むのだがしょっぱい！肉は硬い！どうせならもう少し柔らかくまで煮れば良いのに！やはり肉は日本だ！カードで支払ったが、持って来た暗証番号入力装置の画面はチップの金額の入力画面になっており、チップの金額を入力すると次に暗証番号の入力となった。初めて！

帰り道にアイスクリームを食べながら戻り、シャワーを浴びて寝る。洗濯は無し！で有る。それでも 8700 歩いていた。

7月9日(土)

ついに帰る朝！もう！で有る。5時前に起床、ゆっくり日記の記載と荷物の整理を行う。朝食を済ませ、Mitt 駅へ、12ユーロの CAT(空港行き専用列車)にて空港へ。第1ターミナルへ移動し、チェックインを済ませ、手荷物検査を受けて出国エリアへ。ロビーにて時間を過ごす。

予定通りに 10:15 出発、ヘルシンキ空港まで約 2 時間、昼食のサービスあり。到着後まずはお土産の買い物であるが職員と孫たち用のみを購入。



パスポートコントロールは自動チェックインを使ってみるが容易であった。自動チェックインへ並んでいるときに大学時代の恩師に声をかけられた。ご夫婦でスウェーデンとオランダに行かれたとのこと。毎年のように思いがけない場所思いがけない人と会うものだ。

その後ロビーに行きちょっと食べ物を摘んでリソゴ酒なんぞ飲んでいたら「Mr.フミュキ ナカシマ 34 番搭乗口へお越し下さい、云々」との館内放送！搭乗開始まで後30分は有るはずなので何事だろうとカウンターへ行くと Gate close となっていて「急げ！」「??」そうだ！1時間の時差を忘れていたのだった！既に出発時間だったのでアナウンスされたのだった。しかし、乗ってから10分以上動かなかったので私が出発を遅らせた訳ではないようだった。

出発後しばらく飛んで飛行経路が画面に提示されると何と北京上空経由ではないか（シベリア経由と北京経由とはケースバイケースとのこと：アテンダントより）。1時間ほどして食事、日本時間では0時過ぎなので食べ終わると早々に寝る。約3時間寝たかなー、目が覚める。北京上空が近いのだが下は霞んで見える。やはり公害か？

映画を見て日記を付けていると朝食。韓国上空は雲の上で飛行経路は良くわからないが対馬空港を右下に眺めながら降下し、予定より5分早くの到着予定のアナウンスあり。

バスで移動だが暑い！湿気がすごいと感じる。入国審査後、荷物のでて来るのを待っている間にバス時刻を調べると旨い具合に田川行きのバスがある為に国内線ターミナルへ移動しバスにて新飯塚駅へ、その後はタクシーで帰宅する。

写真の整理が残っているが楽しかった、いつもの事ながら色々なハプニングもあった旅行が終わり、時差ぼけ解消に努力をしなくてはならない